



2009年(平成21年) 5月28日 木曜日

発行所: 十勝毎日新聞社  
〒080-8688  
帯広市東1条南8丁目  
電話(代表) 0155-22-2121

### 無重力状態 約35秒間

#### JAXA実験 大樹でも成功

【大樹】独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)が27日午前、大樹航空宇宙実験場などで実施した大気球の「無重力実験システム動

作試験」で、JAXAは同日午後、実験装置内で目的の無重力状態を約35秒間つくりだしたと発表した。同装置なども回収し、一連の実験は成功した。

大樹移転前の三陸大気球観測所(岩手県大船渡市)でも過去2回、成功の実績があるが、大樹でも同システムの稼

働を実証できた形。宇宙ステーションでの実験実施は費用が掛かり、利用機会も少ないことから、大気球は無重力実験の新しい道具の1つとして活用された。

今回、大気球につり下げられた実験装置は長さ4メートルのロケット型。装置内に収められた球形の実験機器が、内壁に

当たって重力がつかないよう機体を制御し、無重力の環境をつくり出した。高度40メートルで切り離された実験装置は十数メートル降下。35秒後にパラシュートが開き、豊頃町大津沖東方30メートルの海上に着水、放球から約5時間後にヘリコプターで回収した。

(北雅貴)